

二〇一一年度・全学共通カリキュラム総合A群

「立教大学の歴史」の記録

一 開講時期・時間・教室

①新座 後期・木曜日五限・三号館三階N三二三教室

②池袋 後期・金曜日五限・一四号館二階D五〇一教室

二 担当者

豊田雅幸（立教大学文学部助教、立教学院史資料センター研究員）

三 ゲストスピーカー

なし

四 授業内容（新座・池袋）

①オリエンテーション

②DVDに見る立教大学の歴史

③聖公会の日本伝道と創立者ウイリアムズ

④立教学校の誕生

⑤文部省訓令第12号と立教学院の成立

⑥高等教育制度の整備と立教大学の誕生

⑦関東大震災による被害と復興

⑧立教大学の拡大と戦争の影響

⑨日米開戦とキリスト教主義教育の危機

⑩戦局の悪化と大学存続の危機

⑪敗戦から学園の再建へ

⑫新制立教大学への移行

⑬高度経済成長期以降の立教大学

五 学部・学科・学年別受講者数

学部	学 科	新 座					池 袋				
		1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計
文	キ リ ス ト 教	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	史	0	0	0	0	0	0	0	3	8	11
	教 育	0	0	0	0	0	0	1	4	3	8
	文	0	0	0	0	0	6	5	0	2	13
経済	経 済	0	0	0	0	0	0	4	2	3	9
	会計ファイナンス	0	0	1	0	1	0	0	1	4	5
	経 済 政 策	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4
理	数	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
	物 理	0	0	0	0	0	2	1	0	1	4
	化	0	0	0	1	1	1	0	0	6	7
	生 命 理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社	社 会	0	1	0	0	1	1	1	4	0	6
	現 代 文 化	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	メ デ ィ ア 社 会	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
法	法	0	0	0	0	0	7	2	4	5	18
	政 治	0	0	0	0	0	4	1	3	1	9
	国際ビジネス法	0	0	0	0	0	2	4	0	2	8
	国 際 ・ 比 較 法	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
観光	観 光	6	2	1	1	10	1	0	0	1	2
	交 流 文 化	4	1	0	2	7	0	0	0	1	1
コミ福	福 祉	1	3	3	2	9	0	0	0	0	0
	コミュニティ政策	2	0	1	4	7	0	0	0	1	1
	スポーツウェルネス	7	0	2	0	9	0	0	0	0	0
経営	経 営	0	0	0	0	0	1	1	1	4	7
	国 際 経 営	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
現代心理	心 理	1	1	3	0	5	0	0	0	0	0
	映 像 身 体	0	2	1	5	8	0	0	0	2	2
異文化	異 文 化 コ ミ	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
	計	21	10	12	15	58	26	22	28	63	136
	そ の 他					0					3
	合 計					58					139

彙報

□立教学院史資料センター運営委員会

- 第一回 二〇〇一年二月一日
- 第二回 二〇〇一年一月二八日
- 第三回 二〇〇二年五月二八日
- 第四回 二〇〇二年一月二二日
- 第五回 二〇〇三年四月二二日
- 第六回 二〇〇四年三月一日
- 第七回 二〇〇四年一月一八日
- 第八回 二〇〇五年三月一〇日
- 第九回 二〇〇六年一月二三日
- 第十回 二〇〇七年三月七日
- 第一一回 二〇〇八年六月四日
- 第一二回 二〇〇九年三月一三日
- 第一三回 二〇一〇年七月一六日
- 第一四回 二〇一一年五月二〇日
- 第一五回 二〇一二年一〇月五日
- 第一六回 二〇一三年一月三一日

運営委員会委員（二〇一三年一月現在）

老川慶喜（立教学院史資料センター長、経済学部教授）

広田勝一（立教学院院長）

阿久津美都子（図書館事務部長）

奈須恵子（学校・社会教育講座教授）

西原廉太（文学部教授）

金刺信一（総長室事務部長）

佐藤忠男（チャプレン長）

渡辺憲司（立教新座中学校・高等学校校長）

鈴木弘（立教池袋中学校・高等学校校長）

遠山章夫（立教小学校教諭）

寺崎昌男（立教学院調査役、東京大学名誉教授）

永井均（校友、広島市立大学准教授）

伊藤俊太郎（校友、元立教中学校教諭）

□研究プロジェクト研究員会議

プロジェクト3「遠山日誌」研究

- 第二五回 二〇一二年四月一三日
- 第二六回 二〇一二年五月一七日
- 第二七回 二〇一二年六月八日
- 第二八回 二〇一二年七月六日
- 第二九回 二〇一二年八月二三日
- 第三〇回 二〇一二年九月二五日
- 第三一回 二〇一二年十一月一六日

プロジェクト3 センター員（二〇一三年一月現在）

茶谷誠一（成蹊大学助教）

豊田雅幸（立教企画）

永井 均（広島市立大学准教授）

奈須恵子（学校・社会教育講座教授）

山田昭次（立教大学名誉教授）

プロジェクト4 立教中学校関係資料研究

第五回 二〇一二年七月二〇日

プロジェクト4 センター員（二〇一三年一月現在）

安達宏昭（東北大学大学院准教授）

大島 宏（東海大学准教授）

田中智子（学術調査員）

奈須恵子（学校・社会教育講座教授）

前田一男（教育学科教授）

油井原均（白百合女子大学准教授）

□立教学院史資料センター（二〇一三年一月現在）

老川慶喜 センター長

山中一弘 課長

鈴木勇一郎 学術調査員

田中智子 学術調査員

宮本正明 学術調査員

大江 満 立教企画

豊田雅幸 立教企画

□立教学院一五〇年史編纂委員会

第一回 二〇一一年一月二七日

第二回 二〇一一年四月二八日

□立教学院一五〇年史専門委員会

第一回 二〇一一年七月一三日

第二回 二〇一一年一〇月二一日

第三回 二〇一二年一月一三日

第四回 二〇一二年一〇月五日

第五回 二〇一三年一月三一日

学院史資料センター規程

制定 二〇〇〇年一〇月一八日
施行 二〇〇〇年一〇月一八日

改正 二〇〇二年 二月二七日

改正 二〇〇二年 二月 四日

改正 二〇一一年 四月一四日

改正 二〇一二年 七月 一日

(設置および名称)

第1条 本学に立教学院史資料センター（以下「センター」という）を置く。

(目的)

第2条 センターは、立教学院（以下「本学院」という）の歴史および学院関係者の事蹟に関する資料の収集・保存、調査・研究などを通じて、本学院の発展に資することを目的とする。

(事業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理および保存
- (2) 調査・研究およびその成果の発表

(センター長およびその職務)

第4条

- (3) 展示会、講演会、公開講座等の開催
- (4) 資料の公開およびレファレンスサービス
- (5) 学院内における立教史の教育に関する業務
- (6) その他第2条の目的達成に必要な事項

センターに、センター長1名を置く。なお必要に応じて副センター長を置くことができる。

2. センター長は、センターの業務を統括し、センターを代表する。副センター長は、センター長の指示にもとづき、センター長を補佐する。

3. センター長は、毎年度の終わりに、当該年度の事業経過ならびに次年度の事業計画案を総長に報告し、その承認を得なければならない。

4. センター長は、事業計画に変更の必要が生じた場合、速やかに総長に報告し、その承認を得なければならない。

第5条 センター長、副センター長は、総長がこれを任命する。

2. センター長、副センター長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3. センター長、副センター長が任期の途中で退任した場合、その後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員およびその職務)

第6条 センターに運営委員若干名を置き、次の区分により総長が任命する。

- (1) 大学 5名
- (2) 池袋中学校・高等学校 1名
- (3) 新座中学校・高等学校 1名
- (4) 小学校 1名
- (5) 学院本部 1名
- (6) その他センター長が特に指名する者
校友を含む若干名

2. 運営委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第7条 運営委員は、運営委員会を構成し、センターの運営にあたる。

(運営委員会)

第8条 センターに運営委員会を置く。

2. 運営委員会は、センター長がこれを招集し、その議長となる。
3. 運営委員会は、次の事項を審議する。
 - (1) センターの管理運営に関する事項
 - (2) センターの研究・事業内容に関する事項
 - (3) その他必要と認める事項

(センター員)

第9条 センターには、その事業に従事するセンター員若干名を置く。

2. センター員は立教大学研究所等構成員規程に基づき、次の区分により総長が任命する。
 - (1) 本学院の教職員のうちから、運営委員会の議を経てセンター長が推薦する者
 - (2) 本学院の教職員以外のうちから、運営委員会の議を経てセンター長が推薦する者
3. センター員の任期は2年とする。ただし、再任されることができる。

(学術調査員)

第9条の2 センターに学術調査員を置くことができる。

(事務局)

第10条 センターに事務局を置く。

(改正)

第11条 本規程の改正は、運営委員会の議を経て総長がこれを行う。

附則 この規程は、二〇〇〇年一〇月一八日から施行する。

附則 この規程は、二〇〇二年四月一日から施行する。

附則 この規程は、二〇〇二年二月四日から施行する。

附則 この規程は、二〇一一年四月一日から施行する。

附則 この規程は、二〇二二年七月一日から施行する。

＝執筆者紹介＝

- 鈴木勇一郎** 立教学院史資料センター学術調査員・センター員
02年青山学院大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了
博士（歴史学）〈青山学院大学〉
単著『近代日本の大都市形成』（岩田書院 04年）
『おみやげと鉄道 名物で語る日本近代史』（講談社 13年）
論文「小林一三と郊外開発」『日本歴史』（772号 12年）など
- 田中智子** 立教学院史資料センター学術調査員・センター員
12年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程退学
論文「京都（帝国）大学と戦後の学生運動 —1945-49年の再編過程を追って—」（『日本の教育史学』第49集、06年）
「戦後学制改革期における第一高等学校寮自治の変容と継承」（『日本の教育史学』第52集、09年）
- 播本秀史** 明治学院大学文学部教職課程教授
75年、立教大学文学部キリスト教学科卒業
95年、立教大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程後期課程満期退学
著書『新井奥邃の人と思想—人間形成論—』（大明堂、1996年）
編著書『日本の教育を考える』（学文社、2010年）
共著『宗教を考える教育』（教文館、2010年）
共著『公共する人間 新井奥邃』（東京大学出版会、2010年）
共著『学校・教師の時空間』（三元社、2012年）
論文「中国・山東大学学生における価値意識の報告」（『人間の発達と教育』第3号 2007年）など
- 横島公司** 札幌大学非常勤講師
07年立教大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程入学
共編著『北海道と道州制—歴史と現状・国際比較—』（札幌大学附属総合研究所 研究叢書2）、12年）
論文「ヴェルサイユ講和条約におけるカイザー訴追問題と日本の対応」『日本史研究』（604号 12年）など

『立教学院史研究』 投稿規程

本誌『立教学院史研究』では、一般の投稿を受け付けます。投稿の要領は以下の通りです。

(1) 投稿資格

事前にセンター長または編集委員長に申し出て許可された者。

(2) 投稿申込・原稿提出

- 1) 投稿希望者は毎年6月末日までにセンター長または編集委員長まで、題名、内容の種別を申請し許可を受けるものとする。連絡先は本誌奥付を参照。
- 2) 原稿提出は10月下旬の、定められた日とする。

(3) 投稿内容

- 1) 立教学院史に関係のある学術的内容の未発表論文、研究ノート、翻訳。
- 2) 立教学院史に関係のある未発表の聞き書き、資料紹介など。

(4) 執筆要領

- 1) 原稿は日本語で、ワープロによる縦書きを原則とする。
- 2) 字数は、論文20,000字以内、その他12,000字以内とする。
- 3) 原稿はCD、メールなどのデータと、印刷原稿2部を提出する。
- 4) その他の要領については、編集委員会の指示する凡例に従う。

(5) 採否

- 1) 採否および掲載号は編集委員会で審議し、決定する。
- 2) 採否および掲載号は編集委員会事務局から直接執筆者に通知する。

以 上

立教学院史研究 第10号

2013年2月20日発行

編 集 「立教学院史研究」編集委員会
委 員 長 寺崎昌男
委 員 老川慶喜 大江 満 永井 均
奈須恵子 西原廉太 前田一男
編集担当 山中一弘

発 行 立教大学 立教学院史資料センター
発行者 センター長 老川慶喜
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
電話 03(3985)2758 FAX. 03(3985)2790
印 刷 立教プリンティングステーション

【おことわり】 本誌掲載の論文等で引用または使用されている用語には、差別語・不快語などの不適切な表現が含まれている場合がありますが、歴史研究の観点から敢えてそのまま掲載しています。(立教学院史資料センター)

ISSN 1884-1848